

環境科学部 環境建築デザイン学科

Department of ENVIRONMENTAL ARCHITECTURE DESIGN

同じ気持ちを持った仲間と
刺激し合いながら自分を見つけ、
自分を表現してほしい。

建物ができていく過程に興味があったので、この学科
に入りました。

大学生活は想定していたよりも忙しく、あっという間に
過ぎていく日々は刺激的で充実しています。私たちに
昼夜問わず自らの設計や学習に打ち込めるよう製図室
が与えられ、50人規模のメンバーでそれぞれの個性や
興味を刺激し合いながらやりがいがある課題に取り組
んでいます。また、木匠塾など、授業以外の時間でも講
師との交流や仲間との絆を深められる学生中心のプロ
ジェクトも多くあります。

大学生活は起きているときも寝ているときも自分の時
間。自分を殺さず、最大限に自分を表現してみてください！
新たな自分を見つけ創造する最高の機会です。

環境科学部 環境建築デザイン学科 3年生
佐藤 允哉 さん/愛知県立豊丘高等学校出身



◆学びのステップ〈4年間の学習フロー〉



	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
計画 Planning		地域環境計画		景観計画	都市・地域計画 建築生産施工	建築法規	環境行動論	
デザイン Design	建築一般構造	建築・ランドスケープ・都市の理論と実際を学びます			環境設計II サステナブル デザイン論	環境職能論		
演習 Exercise	イメージ表現法 環境FWI	設計基礎演習 CAD演習I	設計演習I 環境FWII CAD演習II	設計演習II 地域産学連携実習	設計演習III 環境FWIII	環境・建築 デザイン演習	卒業研究・ 卒業制作I	卒業研究・ 卒業制作II
歴史・理論 History/Theory			西洋建築・ 思潮史 比較都市論	環境造形論 内部空間論	環境行動論	ゼミに所属し独自のテーマに取り組みます		
技術 Engineering		構造計画 建築数学・物理	構造力学I		構造力学II 建築環境工学演習	アジア建築史 環境技術史 環境設備	アジア建築史 環境技術史	環境技術
	建築学の体系と基礎知識・基本技術を学びます							

持続的発展可能な都市、地域を創生するために、
景観、防災、資源、エネルギーなど広い視野から建築デザインを学びます。

◆アドミッションポリシー

環境建築デザイン学科では、持続可能な社会の建設のために、建築学を基礎に、
建築を巡る環境や地域が抱える問題を発見、理解し、解決する能力を有する人材
を育成します。この教育目標を達成するために、次のような学生を求めます。

求める学生像

- ① 高度な専門知識を身につけるために必要な数学、理科、英語、国語、地理歴史・公民の基礎学力を有する人(知識・理解)
- ② 環境建築デザインや地域社会の創造に強い関心を持ち、自ら学ぼうとする意欲を持つ人(関心・意欲)
- ③ 都市、地域、景観、防災、資源、エネルギー、世界規模の問題まで広範な関心を持ち、人と協調する力を有する人(協働性)
- ④ 見出された問題に対して論理的に思考し、その解決に向けて創造する基礎力を有する人(思考力・判断力・表現力)

◆学びのポイント

建築・都市が大好きな粘り強い若者というのが本学科の学生像で、琵琶湖の辺という恵まれた環境を余すことなく勉学の糧とし、旺盛な行動力をたぎらせてキャンパスライフをおくっています。琵琶湖周辺でのフィールドワークをかさね、建築・ランドスケープ作品を実際に建造したり、周辺地域のまちづくりにも積極的に取り組んでいます。世界の建築・都市デザインの動向にも敏感で、アジアの都市・地域環境の創造につながるリサーチも手がけるなど、活躍の場は大きくひろがっています。学生の自主的活動が活発なことも特色で、学生組織の1つ「談話室」では頻りに講演会を開催するなど、日常では得られない刺激と知識の習得に努めています。世界的に活躍する教員集団は、学生のセンスに磨きをかけてくれることを指針に教育・研究を実践しています。



Point
1

幅広い「環境建築デザイン」から、得意分野を見つけよう

本学の建築学科は、「建築計画・設計」「造園・ランドスケープ」「都市・地域計画」「建築史・空間論」「環境工学」「建築構造・安全防災」など、広範な分野から成り立っています。多彩な科目が開かれており、誰でも得意分野を見つけることができます。

Point
2

実際に身体を動かして、体験をもとにイメージを組み立てよう

環境建築デザイナーになるためには、幅広い素養を身につける必要があります。講義や書物からの知識のみでなく、現場での体験をもとに学ぶことが必要です。そして、複雑な条件や要求をひとつの空間・イメージにまとめるトレーニングが「演習」です。

Point
3

「環境学」という視点から、建築・都市の未来を創り出そう

他大学にはないユニークさは、環境生態学、環境政策・計画学、生物資源管理学といった重要な分野と「共生」し、ともに環境科学部を構成している点です。これからの生活空間・地域環境を考えていく上で、この教育・研究環境はかけがえのないものです。



環境科学部
環境建築デザイン学科
村上 修一 教授

環境建築デザイン学科 ってこんなところ

本学の環境建築デザイン学科は、工学部ではなく、環境科学部にあります。これは、これまでの工学的建築の枠組みや専門性を越えて、自然と人間・社会との関係や地域に根ざした視点を重視するという理由からです。本学科では、木によるものづくりや東北被災地の復興支援、国際建築ワークショップなど、学外実習・課外活動が充実しています。



設計基礎演習

図面や模型の作成、プレゼンテーション技法など、設計の初歩を学びます。



〈専門科目の例〉

講義・演習・実験

環境共生論

都市・建築・人間の関係を環境共生の観点から考え、持続可能性を追求していきます。

サステナブルデザイン論

現代において地球環境を考慮した循環型社会を構築するために、建築分野を中心とした様々なサステナブルな計画、デザインの方法について論じます。過去から現代までの都市計画、地域計画、建築デザイン、プロダクトデザインなど具体的な事例や取り組みを紹介しながら講義を行います。

都市・地域計画

都市・農村の生活空間と地域環境の構造的な理解とその方法論、地域問題の解決と持続・再生に向けた計画について論理的かつ実践的な視点から講じます。

環境設計I・II

住宅や文化施設など建築計画の方法論を概観し、建築の成立過程における計画の理論の意味を論じます。

イメージ表現法

手を使う演習を通して、デザインの原動力となる空間的イメージを2次元・3次元で表現する能力、および基本的な造形力を身につけます。

CAD演習I・II

建築の設計で多用されているCADシステムについて実際に機器を操作しながら設計の進め方を学びます。

◆ようこそ研究室へ



YAMASAKI YASUHIRO
山崎 泰寛 准教授

建築の知識は、理系・文系の学問が融合して育んでいく。広い視野と想像力と構想力を兼ね備えていくことが、環境建築デザインを学ぶ上で大切だ。

環境建築デザイン
山崎泰寛研究室

建築は、作家的な創作活動(芸術)や経済的な生産物(産業)のバランスの中で生まれる文化的産物です。そこで、研究室では、ある社会の中で建築がどのような関係の編み目の中に位置し、役割を担うものなのかを研究しています。具体的には、「動かせない」という建築物の特徴を鑑みて、雑誌や書籍、展覧会といったメディア(社会と建築の媒介)の中での建築の扱われ方を対象に、歴史的な視点を交えたデザイン論を追求しています。



ベネチア・ビエンナーレ国際建築展2016よりスイス館のインスタレーション



Foreclosed: Rehousing the American Dream展(2012年、ニューヨーク近代美術館)



KANEKO NAOSHI
金子 尚志 准教授

環境がきつくなるにつれて、都市への建築が求められるようになっていく。環境と都市の関係性を考えることが、環境建築デザインを学ぶ上で大切だ。

環境建築デザイン
金子尚志研究室

地球環境への負荷の少ない省エネ建築は時代の要請ですが、これからの建築は、環境への負荷が少ないだけでなく、美しさと快適さを兼ね備えた空間が求められます。「環境としての建築と都市」を主なテーマとし、建築環境工学的視点を軸に、身の回りにある様々な環境要素と建築・都市の結びつきをとらえることで、建築の姿・形をつくる原理を読み解き、現代の社会にふさわしい環境と応答する建築と都市のあり方を探索しています。



パッシブタウン黒部モデル第一期街区



LCCM住宅デモンストレーション棟

主な卒業研究のテーマ(2016年度)

□卒業研究

- 地下空間のわかりやすさに関する研究
— 地下のランドマークと案内情報の観点から —
- 蒸暑地域における内外空間をつなぐ中間領域
— ジェフリー・パワ作品の空間構成を例として —
- 天理教一般教会における祭儀空間の特性に関する研究
— 滋賀県内の一般教会を対象として —
- すだれ構法による木製アーチの力学性能に関する研究
- 滋賀県における郷土かるたの実態と主題分析
- 草津宿・本町商店街におけるまち割りの変化とその景観手法の新たな可能性
- 空家植物による景観形成の可能性
— 東近江市の主要道路沿いを対象として —

□卒業制作

- 入り込み 巡る
— 岐阜駅前商店街 里山化計画 —
- いつかもててくるところ
— 12人のこどものための沖島児童養護施設 —
- 繋がる集落温泉
— 十三の民宿を始まりとして —
- 漁村の教会
— フリピン・台風ヨランダからの災害対策建築 —
- 胡同院 新しい北京四合院のモデル —
- 空間メソッドと住みつかかたち
- 境界を更新する新たな集落造形



設計演習I

敷地・機能・行為と空間との関係を理解し、建築造形の基本を学びます。独立住宅の設計では、街並みデザインの観点からも検討します。



卒業研究・卒業設計

作品・論文展示会と公開プレゼンテーション・講評会の様子。

イメージ表現法

イメージや思いを様々な材料を使って形にすることが建築の醍醐味です。1年生から2次元、3次元の表現技術を磨くトレーニングを行っていきます。

設計演習III

より高度な計画・デザイン手法を身につけ、総合的な提案力を学びます。



設計演習II

計画理論を実践的な設計につなげる設計過程を学びます。



建築環境工学演習

場所による光・音・熱などのあり方の違いを測り、建築との関係を考えます。



◆進路状況(2015~2017年度卒業生)

◆就職先

- (株)アキュラホーム
- 旭化成ホームズ(株)
- (株)六吹工務店
- (株)一条工務店
- (株)エステム建築事務所
- (株)エフピコ
- JA おうみ富士
- (株)大林組
- 大輪建設(株)
- (株)奥田工務店
- (株)岐阜造園
- 三陽建設(株)
- (株)スペース
- 積水ハウス(株)
- 大東建設(株)
- 大和ハウス工業(株)
- (株)竹中工務店
- (株)長谷工コーポレーション
- (株)平成建設
- 前田建設工業(株)
- (一財)滋賀県建築住宅センター
- (株)フジ・ホーム
- タマホーム(株)
- (株)ゼロ・コーポレーション
- 東建コーポレーション(株)
- 中村建設(株)
- 矢作建設工業(株)
- 滋賀県
- 京都市
- 桑名市

◆進学先

- 鯖江市
- 吹田市
- 豊田市
- 枚方市
- 滋賀県立大学大学院
- 神戸大学大学院
- 横浜国立大学大学院
- 名古屋国立大学大学院

取得可能な資格一覧※1

- 一級建築士受験資格※2
- 二級建築士受験資格
- 木造建築士受験資格
- 施工管理技士資格※3
- 社会福祉士主任任用資格

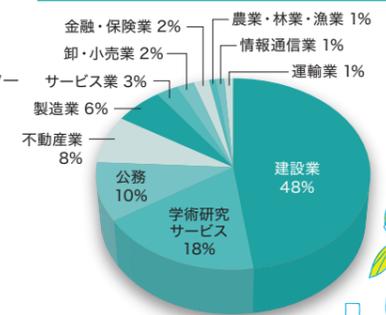
環境科学研究科 環境計画学専攻
2014年度修了
勤務先：株式会社類設計室

玉田 祥太さん

類グループは、総合設計事務所の「類設計室」、教育事業の「類塾」など5部門からなり、私は類設計室に所属して、中高一貫校の設計を担当しています。お客さまでもある全教職員の方々と1年以上に及ぶワーキングを行い、「施設のあり方」のハード面だけでなく、ソフト面の「教育の未来」まで踏みこみ議論することで、お客さまと設計者という枠を超え、ともに設計を進めています。滋賀県立大学では、他大学に比べ、フィールドワークや木匠塾など実際に体を動かして考えることで、学んだり、実際に提案し評価をもらったりする機会が多数あります。仕事では、決まった答えがない課題ばかりですが、その課題の幹をどうしたら捉えることができるか、どのような答え(提案)を出すかは、県大で培った考え方や、経験が役に立っていると感じます。活気のある空間や愛される建築をつくるには、建築技術を極めるだけでは不十分だと感じています。先輩方を見てみると、建設プロジェクトを通して、活気ある空間=活気ある人をつくりあげています。狭い視点だけでなく、建築設計の分野を超えたヒトづくりまで含んだ視点を獲得し、みんなに愛される建築をつくれるようになりたいと思います。

(2018年1月現在)

2015~2017年度卒業生の業種別就職状況



CAMPUS LIFE ONE DAY 県大生の一日



1日のスケジュール

- 8:30 通学
- 9:00 1限: サステナブルデザイン論
- 10:40 2限: 環境設計II
- 12:10 昼休み
- 13:10 3限: 設計演習III
- 14:50 4限: 設計演習III
- 16:30 5限: 設計演習III
- 18:00 課外活動

1限



自然環境を取り込んだ建築の事例を紹介し、

2限



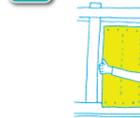
より快適な室内環境を生み出すための実習をおこないます。

3~5限



地球環境に根ざした創造的な建築の提案を模型や図面を通じて実習します。

課外



地域の要望に答える実寸大の建築を制作します。

※1 すべての資格は、大学が定める所定の科目を履修し、単位を修得する必要があります。 ※2 実務経験2年以上必要 ※3 受験資格認定対象者は「基礎数学I」、「基礎数学II」、「建築数学・物理」のなかから2単位以上履修した者。